

週刊大貫のり夫

市政ファイル No.359



日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2012年9月26日(水)

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6

発想の転換で**市民の命・くらし第一の予算に** 日本共産党横浜市議団が林市長宛に予算要望書提出

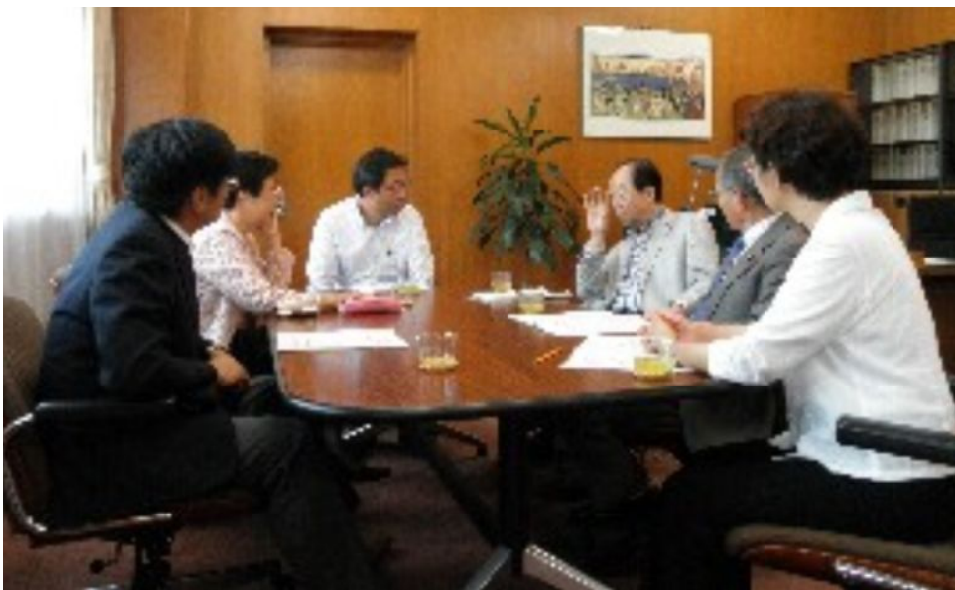
日本共産党横浜市議団は20日、2013年度横浜市の予算編成に対する要望書を林文子市長宛に提出しました。

党市議団は、8月28日に市長宛に「2013年度予算編成にあたっての申し入れ」を行い、「市民の命とくらしを守る」という地方自治の精神を市政に反映するためには都市のあり方や骨格そのものを変えなければならず、予算編成にあたっては発想の転換が必要だと5つの転換を提案。今回は、今夏に党市議団が行った各界、各層との懇談会で寄せられた要望等を踏まえ、要望項目を具体化したものです。1.子育て・教育、2.福祉・医療、3.市内経済活性化、4.防災・環境・平和、5.行財政運営の5つの柱で、219項目にわたっています。

しを守る」という地方自治の精神を市政に反映するためには都市のあり方や骨格そのものを変えなければならず、予算編成にあたっては発想の転換が必要だと5つの転換を提案。今回は、今夏に党市議団が行った各界、各層との懇談会で寄せられた要望等を踏まえ、要望項目を具体化したものです。1.子育て・教育、2.福祉・医療、3.市内経済活性化、4.防災・環境・平和、5.行財政運営の5つの柱で、219項目にわたっています。

各層との懇談会で寄せられた要望等を踏まえ、要望項目を具体化したものです。1.子育て・教育、2.福祉・医療、3.市内経済活性化、4.防災・環境・平和、5.行財政運営の5つの柱で、219項目にわたっています。

(2面に続く)



予算要望書を提出後、大場茂美副市長と懇談する日本共産党横浜市議団右から3人目が私・大貫＝9月20日、横浜市役所

Twitter facebook ご覧ください

防災施策の名で市民税500円引き上げ 日本共産党は条例改定に反対

横浜市議会では19日、日本共産党の古谷やすひこ議員が、防災施策を実施するためとして市民に一律500円の負担増を強いる市税条例の一部改定に反対する討論を行いました(写真右)。

昨年、「全国的に、かつ、緊急に地方公共団体が実施する防災のための施策を実施する場合」、地方税法の特例として市民に一律500円の負担を課すということが「できる」復興財源確保法が成立。神奈川県はすでに今年3月議会で、県民税の年間1人500円の引き上げを決めています。

古谷議員は、防災震災対策は住民の命と安全を守るという地方自治体としての基本的な仕事で、あらたな税金を取らなければできない事業ではないと述べました。さらに、税の基本は応能負担であり、所得に関係なく均等に負担を求めるのは、低所得者にとってはきわめて不公平なや

(1面より)

私・大貫は、「市長が5日に発表した『平成25年度予算編成スタートにあたっての市政運営の基本的考え方』とそこで示された『施策推進・予算編成・組織運営の方針』には、



り方と批判しました。

採決の結果、自民、民主、公明等の賛成多数で可決され、2014年6月から10年間、市県民税合わせて、年間1000円の引き上げとなります。

そのほか、古谷議員は、横浜環状北西線建設に関する一般会計補正予算、生活保護基準および建設アスベスト訴訟に関して国に意見書の提出を求める請願の不採択等に対しても、反対の討論を行いました。

採決の結果、市長および議員提出議案は自民、民主、公明等の賛成多数で可決、請願は自民、民主、公明等の反対で不採択となりました。

私たちの申し入れの趣旨が反映されたとはいえず、残念。引き続き発想の転換を訴えていく」と述べました。

対応した大場副市長は、「しっかり市長に伝える。誠意を持って検討したい」と述べました。

シリーズ『あおば子育て事情』(119)

「安全神話」に負けそう

江口 寛

夏休み、「浜岡原発」に行ってきました。と言っても、隣接の「原子力館」ですが。冷房バッチリ。入館料0、駐車料金0。半日いたら、何か、原発は安全、職員の方を信じようという気分になってしまいそうでした。

シースルーエレベーターで36秒、展望台へ。発電所敷地内が一望にできる。津波対策解説パネルもある。館内には、海拔18mの防波壁を体感する「実物大防波壁模型」もある。バーチャルエレベーターで地下500mを体験、ここは高レベル放射性廃棄物のバーチャル地層処分場。中央制御室、いろんな機器が並んで小さな異変も見逃がさない。オムニマックスシアターに入る。



直径18mのジャンボスクリーン。サンゴ礁を守るボランティアの話。150席に5

人だけ。多くの親子連れは「マスコットキャラクターを探せ!」という企画に興じている。10個探すと何かもらえるらしい。

日曜日には、「はまおかカーニバル」と銘うって、『縁日』や『特命戦隊ゴバスターズショー』とか『わくわくポニー広場』が行われるそうだ。

また、郷土史展示ホールや地域団体用のギャラリーもあり、地元への奉仕も怠りない。

さて、この運営費用はどこから出てるの? 結局、電気料金? それしかないよね。

帰路、御前崎灯台へ。見学料200円。駐車場300円。

後日、浜岡原発に19mの津波との推計が出た。



革新懇横浜連絡会

革新懇横浜連絡会の第3回総会が15日、東神奈川にある神商連会館で行われ、私が党市議団を代表して連帯のアイサツをしました。

市内には18区中15区に革新懇があり、準備会の緑区を含め16区から代表が集まって、活動を交流しました。

新市庁舎整備問題急浮上の理由は？

新市庁舎建設整備問題が急浮上してきました。

横浜市は新市庁舎建設について、①北仲通南地区に新設②現庁舎周辺に再整備③現庁舎周辺と北仲通南地区に整備の3案を示しています。市は20日、議会の「新市庁舎に関する調査特別委員会」に北仲通南地区について、140階級の高層ビルで総面積は約16万4千平方メートル、事業費は約603億円、調査・設計から完成まで8年を見込み、現庁舎には大学を誘致するなど教育研究機能を集積させる案を検討していることを明らかにしました。

整備スケジュールは、年内に候補地を固め、2013年度内に基本計画を策定し、早期に着手したいとしています。

新市庁舎整備については市長選挙直後の2009年9月4日、神奈川新聞のインタビューで林市長は「経済状況が悪く、今すぐ取り上

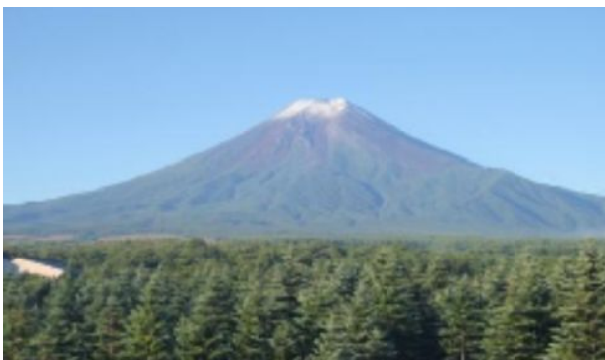


耐震工事済。あと50年以上充分使える現市庁舎

げる問題ではない」と明確に述べています。それから3年、依然として経済は低迷しているのに、林市長は、「防災」のため新市庁舎整備が必要と言い出しています。

「防災」のためなら、ほかに緊急にやらなくてはならない仕事がたくさんあります。

なぜ変心したのか？ 来年の市長選挙を睨んで、自分の再選のために予てより新市庁舎整備を主張してきた自民党に擦り寄を凶っていると云わざるを得ません。



9月12日5時30分頃 富士山レーダードームからの富士山（富士吉田市HPより）

ミジソコの独り言 9月12日朝、富士山を見て、あっ白い！初雪？ 河口湖測候所が廃止されて以来、気象庁発表の「初冠雪」は、甲府地方气象台が目視で確認した日。そこで、富士吉田市では富士山課の職員が確認した時点で「初雪化粧宣言」をしており、今年は12日となった。富士山は大きいんだなあ(M)